

令和4年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業実績

1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、東京2020パラリンピックの開催により高まったスポーツへの関心を、参加することへと繋げていくため、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

2 実施事業概要

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するため、県内で活動する各団体の活動への支援や、県障がい者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進を図った。

【実績】

① 障がい者団体スポーツ活動支援事業

- ・県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 9件

② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業

- ・「第60回福島県障がい者スポーツ大会」の開催

開催日：令和4年5月15日（日）、22日（日）

場 所：福島市（とうほう・みんなのスタジアムほか）

参加者：895名（うち、選手511名・役員及びボランティア384名）

種 目：陸上、フライングディスク、卓球、サウンドテーブルテニス、水泳、ボッチャ、バスケットボール（知的・車いす）サッカー、バレーボール、グランドソフトボール、ソフトボール（知的）、アーチェリー

③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

- ・「第22回全国障害者スポーツ大会（栃木県）」への選手団派遣

派遣期間：令和4年10月27日（木）～11月1日（火）（5泊6日）

派遣人数：個人競技 70名（うち、選手36名・役員34名）

団体競技 11名（うち、選手 7名・役員4名）

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠であることから、地域で活動する指導員等の育成のための講習会の開催や、資格取得のための支援、地域の特色に合わせたマネジメントができる環境整備推進に向け指導者協議会の運営を支援した。

【実績】

① 初級指導員養成講習会開催事業

- ・「令和4年度初級指導員養成講習会」の開催

開催日：令和4年11月26日（土）、12月3日（土）、12月4日（日）

場 所：郡山市障害者福祉センター

受講者：18名

- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（各種資格取得のための支援）
令和4年度公認障がい者スポーツトレーナー養成講習会（1次及び2次）を受講したトレーナー1名に助成

- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業
福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催、指導者スキルアップ講習会の実施

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備した。

【実績】

- ① 選手指導者組織育成支援事業
2名の選手の活動を支援
- ② 団体競技強化支援事業
2競技団体（知的バスケットボール、車いすバスケットボール）の強化活動を支援

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

【実績】

- ① 各種助成事業
県内の障がい者スポーツを行う団体や個人が全国大会等に出場する場合にその費用の一部を助成
・団体：延べ6団体 個人：延べ2名 に対し助成
- ② 運動導入教室開催事業
障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う教室を開催
・令和4年度 全97回、延べ393名参加
- ③ 地域スポーツ教室等開催事業
県内各方部で開催するスポーツ教室・大会の開催費用を助成
・(教室) 全46回、延べ540名参加
・(大会) 全 3回、延べ 97名参加
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催
・令和4年度 9種目 全62回、延べ759名参加

⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業

県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援

・ 4 団体（4 大会）の開催費用の一部を助成

⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業

本県にゆかりがあり、本県障がい者スポーツの発展の一翼を担う次世代アスリートを指定し、選手が行う強化活動に要する費用を支援

・ 20 名を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、うち 9 名の活動を支援

⑦ 【新】ふくしまシャイニングスタープロジェクト

本格的なスポーツ活動には至っていない障がいのある方へアプローチし、競技体験を合わせた基礎的な運動能力等の測定会を開催し、潜在的な能力を持つアスリートの発掘を図った。

開催日：令和 5 年 2 月 26 日（日）

場 所：県立郡山支援学校

受講者：24 名

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、小中学校等での出前講座や体験会を実施するとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備した。

また、将来的に総合型スポーツクラブ等においても障がいのある方が日常的にスポーツに取り組めるよう、出前講座や必要な支援を行った。

さらに、協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行った。

【実績】

① 【新】スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト

ア 出前講座・体験教室の開催

障がい者スポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・公民館・福祉事業所・地域団体等の様々な機関・機会が多様な競技からなる出前講座や体験教室等を実施した。

・ 実施回数：全 62 回 参加者数：3,246 名

イ 先進的な取組の企画

障がいのある人とない人が一緒に参加し、競うことのできる大会の企画に向けた検討、学校教員や各施設の指導員等向けに障がい者スポーツ（ボッチャ競技等）にかかる指導書（マニュアル）を作成した。

ウ 障がい者スポーツ体験イベント等の実施

障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、障がい者スポーツのデモンストレーションの実施及び競技体験ブースを出展した。

・ 実施回数：全 4 回 参加者：650 名程度

エ 支援者養成講習会の開催

これまで各地域に根差して活動してきた団体や個人（例：地元医療関係者、学生ボランティア等）が、障がい者スポーツについて学べる研修会を開催した。

- ・ 県内の大学等 4回実施

オ 特別アドバイザー派遣の実施

障がい者スポーツに取り組んでいる県内の団体や、障がい者が活動しているクラブ等を対象に、各団体の要望に応じた専門的知見を有する特別アドバイザーを派遣した。

- ・ 2名のアドバイザーの派遣

カ 障がい者スポーツ用具等の整備・貸出事業

障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、競技用具等について整備・貸出を行った。

- ・ 全23件（19団体） 競技用車いすの長期貸出（県内の特支学校・小学校2校をモデル校として指定し貸出）

② 障がい者スポーツ地域連携促進事業

実績なし

※①「スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト」との調整のうえ、事業を統合したため。

③ 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

協会広報誌（令和4年度版）の発行

（6）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を行うとともに、県内の障がい者スポーツ医等の有識者との情報共有を図った。

- ① 各種障がいスポーツに関する情報収集（地域ブロック単位や全国単位の会議等への出席）
- ② 障がい者スポーツ医科学委員会の開催

（7）その他の事業

企業が東日本大震災復興支援を目的として実施する事業に協力するとともに、企業からの奨励金（補助金）を活用した事業を実施するものであるが、新型コロナウイルスの影響により中止。

（8）協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図るため、理事会や評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業区分別事業実績（詳細）

【公益事業】（1）障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	314,950 円
概要	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がいのある方を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。</p> <p>（1）県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 【団体活動支援：フォローアップ助成】 助成先：7 団体 助成額：210,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川俣町身体障がい者福祉会（30,000 円） ・喜多方市身体障がい者福祉会（30,000 円） ・みんなでスポーツ（30,000 円） ・Let`s にしごう（30,000 円） ・TEAM まきばの朝（30,000 円） ・アンビシャス（30,000 円） ・おのさくらクラブ（30,000 円） <p>（2）県内新規障がい者スポーツ団体への助成 【新規活動支援：スタートアップ助成】 助成先：2 団体 助成額：100,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県卓球バレー協会（50,000 円） ・一般社団法人アダプテッドスポーツいわき（50,000 円） <p>※決算額には団体への振込手数料含む。</p>		
参考	<p>令和3年度実績</p> <p>県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等</p> <p>助成先：6 団体 助成額：180,000 円 【フォローアップ助成のみ】</p>		

事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	決算額	6,417,962円																																														
概要	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的に大会を開催した。</p> <p>名称をこれまでの「福島県障がい者総合体育大会」から「福島県障がい者スポーツ大会」に改めた他、新しい生活様式における大会運営の在り方（総合開会式の見直しなど）を検討のうえ実施した。</p> <p>なお、本大会は、第22回全国障害者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとし、全国大会派遣種目及び選手の決定の参考とした。</p>																																																
実績	<p>事業実績</p> <p>期日：令和4年5月15日（日）及び22日（日）</p> <p>競技種目・会場は以下のとおり</p> <table border="1" data-bbox="308 969 1350 1628"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">5月15日（日）</td> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>とうほうみんなのスタジアム</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あづま総合運動公園 補助陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>福島市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>福島県点字図書館</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市民プール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合運動体育館・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5月22日（日）</td> <td>車いすバスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>福島市十六沼公園サッカー場 人工芝コート</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>福島市十六沼公園体育館</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立視覚支援学校</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール競技</td> <td>知的</td> <td>福島市十六沼公園スポーツ広場</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山アーチェリーレンジ （※会津若松市）</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者： その他：新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施。</p> <p>「第22回全国障害者スポーツ大会」選手選考会 ※書面により実施</p>			期日	競技種目	障がい種別	会場	5月15日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	とうほうみんなのスタジアム	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま総合運動公園 補助陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市民プール	ボッチャ競技	身体	あづま総合運動体育館・サブアリーナ	バスケットボール競技	知的	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ	5月22日（日）	車いすバスケットボール競技	身体	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ	サッカー競技	知的	福島市十六沼公園サッカー場 人工芝コート	バレーボール競技	身体・精神	福島市十六沼公園体育館	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校	ソフトボール競技	知的	福島市十六沼公園スポーツ広場		アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ （※会津若松市）
期日	競技種目	障がい種別	会場																																														
5月15日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	とうほうみんなのスタジアム																																														
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま総合運動公園 補助陸上競技場																																														
	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館																																														
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館																																														
	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市民プール																																														
	ボッチャ競技	身体	あづま総合運動体育館・サブアリーナ																																														
	バスケットボール競技	知的	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ																																														
5月22日（日）	車いすバスケットボール競技	身体	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ																																														
	サッカー競技	知的	福島市十六沼公園サッカー場 人工芝コート																																														
	バレーボール競技	身体・精神	福島市十六沼公園体育館																																														
	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校																																														
	ソフトボール競技	知的	福島市十六沼公園スポーツ広場																																														
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ （※会津若松市）																																														
参考	※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止																																																

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	10,057,848 円
概要	福島県障がい者スポーツ大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣した。		
実績	<p>事業実績</p> <p>「第22回全国障害者スポーツ大会」へ福島県選手団を派遣した。</p> <p>派遣期間：令和4年10月27日（木）結団式 28日（金）公式練習 29日（土）開会式 30日（日）2日目 31日（月）閉会式 11月 1日（火）帰県（解団式）</p> <p>開催場所：栃木県</p> <p>派遣人数：選手43名（個人競技：36名 団体競技：7名） 役員38名（個人競技：34名 団体競技：4名）</p> <p>派遣競技：</p> <p>○個人競技： 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知・精）、 （サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）、 ボッチャ（身）</p> <p>○団体競技： 車いすバスケットボール（身）、</p>		
参考	※第19回（令和元年度）は台風災害、第20回（令和2年度）、第21回（令和3年度）大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止であったため、実質4年ぶりの参加となった。		

【公益事業】（２）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導員養成講習会開催事業	決算額	285,188 円
概要	障がい者スポーツ指導員を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>期 日：令和４年１１月２６日（土）、１２月３日（土）、４日（日）</p> <p>会 場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>受講者：１８名</p> <p>共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会</p> <p>後 援：（公財）福島県スポーツ協会、（公財）日本パラ障がい者スポーツ協会</p> <p>講習カリキュラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障がいの理解 身体障がい編（県スポーツ課、（一社）日本ボッチャ協会） ・各障がいの理解 知的障がい編（県障がい者スポーツ指導者協議会） ・障がいのある人との交流（ " ） ・各障がいの理解 精神障がい編（ " ） ・全国障害者スポーツ大会の概要（ " ） ・障がい者スポーツの意義と理念（（一社）コ・イノベーション研究所） ・コミュニケーションスキルの基礎（ " ） ・各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫（ " ） ・障がい者スポーツ推進の取り組み（県障がい者スポーツ指導者協議会） ・障がい者スポーツに関する諸施策（ " ） ・スポーツインテグリティと指導者に求められる資質 （（一社）日本ボッチャ協会） ・安全管理（県障がい者スポーツ指導者協議会） 		
参考			

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	145,738 円
概要	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行った。</p> <p>(1) 障がい者スポーツトレーナー養成 1名に対し助成</p> <p>【対象講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 「公認障がい者スポーツトレーナー養成講習会(1次・2次講習会)」 		
参考	<p>【R3年度実績】</p> <p>2名に対し助成</p> <p>(令和3年度中級・上級障がい者スポーツ指導員育成講習会)</p>		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会 運営事業	決算額	303,225 円
概要	専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援した。		
実績	<p>事業実績</p> <p>各支部活動費として、助成金（計 300,000 円）を交付。</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催（令和4年4月）</p> <p>(2) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会役員会の開催 2か月に一度程度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>(3) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部（各支部運営委員会）の開催 3か月に一度程度、各支部の開催</p> <p>※(2)及び(3)については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン開催とした。</p> <p>(4) 令和4年度東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会4事業部会への指導員派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月24日（日）会場：仙台市 ・1名派遣 		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	０円
概要	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
実績	<p>事業実績</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援 遠藤 裕美（ポッチャ競技）…令和４年４月～令和５年３月 ・陸上競技選手の日常練習等への支援 庭瀬ひかり（陸上競技 T51 短距離、マラソン）…令和４年４月～令和５年３月 <p>※協会が行う他事業と同日に開催するなどしているため、職員旅費や会場使用料等について発生せず、決算額は０円となっている。</p>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 ８年：知的障害者バスケットボール普及 平成 ８年：フライングディスク、ポッチャ競技普及開始 平成 ９年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成 12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成 16年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成 21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成 23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成 25年：水泳選手育成支援 平成 27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成 28年：パラバドミントン選手支援 平成 30年：ポッチャ選手育成支援 令和元～３年：ウィルチェアーラグビー選手強化練習支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	451,605 円
概要	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要 費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
実績	<p>事業実績</p> <p>福島県代表団体競技チームが、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロッ ク予選会等に出場する場合等に必要経費を支援した。</p> <p>○対象団体競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール（知的） ・車いすバスケットボール（身体） 		
参考	※R2～R3 年度については新型コロナウイルスの影響により実績なし		

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	231,200 円
概要	全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行った。		
実績	<p>事業実績</p> <p>（１）全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場した個人及び団体に対し、経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人競技 延べ２名（東北大会・全国大会） ・団体競技 延べ６団体（東北大会・全国大会） 		
参考	<p>自主事業</p> <p>※令和３年度：個人競技１名に助成</p>		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,906,957円
概要	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
実績	<p>事業概要</p> <p>障がい者が日常的に運動・スポーツに接する機会を提供するため、障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導、競技体験等を年度通じて県内2会場で隔週・定期的に行った。</p> <p>(1) 実施期日 令和4年4月7日～令和5年3月30日 郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日開催 福島会場：隔週金曜日開催</p> <p>(2) 実施回数 全97回実施（郡山会場：61回、福島会場：36回）</p> <p>(3) 実施場所 郡山会場：郡山市障害者福祉センター 福島会場：福島トヨタクラウンアリーナ</p> <p>(4) 参加者数 延393名参加（郡山会場：237名、福島会場：156名）</p>		
参考	<p>【R3年度実績】</p> <p>■実施回数 全78回実施（郡山会場：56回、福島会場：22回）</p> <p>■参加者数 延277名参加（郡山会場：170名、福島会場：107名）</p>		

事業名	③地域スポーツ教室等開催事業	決算額	802,530 円
概要	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
実績	<p>事業概要（実績）</p> <p>障がい者スポーツ指導者協議会の各6支部が開催する、地域スポーツ教室及びスポーツ大会の開催費用等を支援した。</p> <p>○県北支部 スポーツ教室：10回開催（参加者：延べ81名）</p> <p>○県中支部 スポーツ教室：9回開催（参加者：延べ66名） スポーツ大会：1回開催（参加者：7名）</p> <p>○県南支部 スポーツ教室：4回開催（参加者：延べ50名）</p> <p>○会津支部 スポーツ教室：13回開催（参加者：延べ134名） スポーツ大会：1回開催（参加者：40名）</p> <p>○いわき支部 スポーツ教室：10回開催（参加者：延べ209名） スポーツ大会：1回開催（参加者：50名）</p> <p>※相双支部は中止。</p> <p>【合計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室 46回開催、延べ540名参加 ・大会 3回開催、延べ97名参加 		
参考	<p>※令和3年度実績</p> <p>【合計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室 27回開催、延べ311名参加 ・大会 2回開催、延べ47名参加 		

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	1,842,269 円																											
概要	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるように幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。																													
実績	<p>事業実績</p> <p>障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を年間を通じて開催する。</p> <p>(1) 実施期日 令和4年4月10日～令和5年2月12日</p> <p>(2) 実施競技種目【9種目】</p> <table border="0" data-bbox="411 1016 1165 1391"> <tr> <td>・陸上</td> <td>全9回</td> <td>延べ148名参加</td> </tr> <tr> <td>・フライングディスク</td> <td>全8回</td> <td>延べ157名参加</td> </tr> <tr> <td>・卓球</td> <td>全4回</td> <td>延べ20名参加</td> </tr> <tr> <td>・サウンドテーブルテニス</td> <td>全4回</td> <td>延べ16名参加</td> </tr> <tr> <td>・アーチェリー</td> <td>全3回</td> <td>延べ3名参加</td> </tr> <tr> <td>・サッカー</td> <td>全10回</td> <td>延べ216名参加</td> </tr> <tr> <td>・車いすバスケットボール</td> <td>全9回</td> <td>延べ58名参加</td> </tr> <tr> <td>・水泳</td> <td>全4回</td> <td>延べ8名参加</td> </tr> <tr> <td>・ボッチャ</td> <td>全11回</td> <td>延べ133名参加</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合 計 全62回 延べ759名参加</p>			・陸上	全9回	延べ148名参加	・フライングディスク	全8回	延べ157名参加	・卓球	全4回	延べ20名参加	・サウンドテーブルテニス	全4回	延べ16名参加	・アーチェリー	全3回	延べ3名参加	・サッカー	全10回	延べ216名参加	・車いすバスケットボール	全9回	延べ58名参加	・水泳	全4回	延べ8名参加	・ボッチャ	全11回	延べ133名参加
・陸上	全9回	延べ148名参加																												
・フライングディスク	全8回	延べ157名参加																												
・卓球	全4回	延べ20名参加																												
・サウンドテーブルテニス	全4回	延べ16名参加																												
・アーチェリー	全3回	延べ3名参加																												
・サッカー	全10回	延べ216名参加																												
・車いすバスケットボール	全9回	延べ58名参加																												
・水泳	全4回	延べ8名参加																												
・ボッチャ	全11回	延べ133名参加																												
参考	<p>【令和3年度実績】実施種目：5種目</p> <p>①陸上 全8回 参加者数延132名</p> <p>②フライングディスク 全6回 参加者数延193名</p> <p>③ボッチャ 全7回 参加者数延88名</p> <p>④サッカー 全4回 参加者数延79名</p> <p>⑤車いすバスケットボール 全7回 参加者数延48名</p>																													

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	556,710 円
概要	県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成した。</p> <p>■助成大会 4大会（4競技）</p> <p>①【陸上】2022北海道・東北パラ陸上競技選手権 開催期日：令和4年6月18日（土）～19日（日）参加者 280名</p> <p>②【FD】第23回福島県障がい者フライングディスク大会 開催期日：令和4年9月18日（日）参加者 109名</p> <p>③【サッカー】SFIDA-CUP 開催期日：令和5年3月11日（土）参加者 79名</p> <p>④【ろうあ者】第58回福島県ろうあ者スポーツ大会 開催期日：令和5年5月 8日（日）参加者 68名</p>		
参考	<p>【令和3年度実績】</p> <p>3大会（3競技団体）に対し助成</p>		

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	決算額	1,042,306 円
概要	今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○指定アスリート：20名（うち、助成実績9名）</p>		
参考	<p>※令和3年度 指定アスリート 20名</p>		

事業名	⑦【新】ふくしまシャイニングスタープロジェクト	決算額	427,271 円
概要	本格的なスポーツ活動には至っていない障がいのある方へアプローチし、競技体験を合わせた基礎的な運動能力等の測定会を開催することで、潜在的な能力を持つアスリートを発掘するとともに、障がい特性や興味・関心に応じた競技への参画を促す。		
実績	<p>事業実績</p> <p>○開催日 令和5年2月26日（日）</p> <p>○会場名 福島県立郡山支援学校</p> <p>○参加者 24名（県内の特別支援学校の生徒、ほか）</p> <p>○協力 福島県障がい者スポーツ指導者協議会、福島県障がい者スポーツ医・科学委員会、福島県立医科大学保健科学部、福島県理学療法士会、日本パラ・パワーリフティング連盟、福島パラ陸上競技協会、福島県車いすバスケットボール連盟、ツインバスケットボールリンクス、福島県障害者スキー協会、福島県ボッチャ協会、福島県 FID バスケットボール連盟、東北 STORMERS（車いすラグビー）</p> <p>※国内競技団体及び国内競技団体の地方組織や国内競技団体に属するクラブチーム等</p> <p>○実施内容 前半 : 基礎体力測定 【測定項目】 体重・身長・握力 形態計測：手の長さ、上肢長、下肢長 関節柔軟性：上肢 肩関節、下肢 股関節、足関節 身体能力：立ち幅跳び・ボール投げ 走力：3分間走・20m</p> <p>後半 : 競技体験・競技団体相談ブース ボッチャ、車いすバスケ、車いすラグビー、フライングディスク、卓球、ハンドバイク、スキー、FID バスケ、パラ・パワーリフティング</p>		
参考	※令和4年度新規事業		

【公益事業】(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①【新】スポーツからはじめる共生社会 実現プロジェクト	決算額	6,672,936 円
概要	<p>スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、出前講座や体験会を実施するとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しむ環境を整備する。</p>		
実績	<p>事業実績</p> <p>【魅力発信】</p> <p>(1) 出前講座・体験教室の開催 障がい者スポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・公民館・福祉事業所・地域団体等の様々な機関・機会が多様な競技からなる出前講座や体験教室等を実施した。 ○実施回数：全 62 回 ○参加者数：3,246 名 ○体験競技 ポッチャ、車いすバスケット、シッティングバレー、ゴールボール、ハンドバイク、等 ○講 師：村上光輝氏（東京 2020 パラリンピックポッチャ代表監督）ほか</p> <p>(2) 先進的な取組の企画 障がいのある人となない人が一緒に参加し、競うことのできる大会の企画に向けた検討、学校教員や各施設の指導員等向けに障がい者スポーツ（ポッチャ競技等）にかかる指導書（マニュアル）を作成した。</p> <p>(3) 障がい者スポーツ体験イベント等の実施 障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、障がい者スポーツのデモンストレーションの実施及び競技体験ブースを出展した。 ○実施回数：全 4 回（福島ファイヤーボンズホーム公式戦、Jヴィレッジ 25 周年記念イベント ほか） ○体験競技：ポッチャ、車いすバスケット ○参加者：650 名程度</p> <p>【環境整備】</p> <p>(1) 支援者養成講習会の開催 これまで各地域に根差して活動してきた団体や個人（例：地元医療関係者、学生ボランティア等）が、障がい者スポーツについて学べる研修会を開催した。 ○県内の大学等 4 回実施</p> <p>(2) 特別アドバイザー派遣の実施 障がい者スポーツに取り組んでいる県内の団体や、障がい者が活動しているクラブ等を対象に、各団体の要望に応じた専門的知見を有する特別アドバイザーを派遣した。 ○2 名のアドバイザーの派遣</p> <p>(3) 障がい者スポーツ用具等の整備・貸出事業 障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、専用について整備・貸出を行った。 ○全 23 件（19 団体） ○競技用車いすの長期貸出（県内の特支学校・小学校 2 校をモデル校として指定し貸出）</p>		
参 考	※令和 4 年度新規事業		

事業名	②障がい者スポーツ地域連携促進事業	決算額	0円
概要	将来的に総合型スポーツクラブ等においても障がいのある方が日常的にスポーツに取り組めるよう、出前講座や必要な支援を行う。		
実績	事業実績 ○前頁「スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト」との調整のうえ、事業統合（引き継ぎ）したため、実績なし。		
参考	※令和4年度で終了予定 ※令和3年度実績 出前講座等実績：33件		

事業名	③協会広報誌の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	262,350 円
概要	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
実績	事業実績 広報紙の発行 令和4年度の活動状況等について報告・周知するため作成（2,000部）、関係機関や賛助会員等へ広く配付した。		
参考	自主事業		

【公益事業】(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	40,550 円
概要	各種会議、講習会等に出席し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
実績	<p>事業実績</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4年度障がい者スポーツ東北ブロック連絡協議会 開催日：令和4年11月22日（火） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 ・ 令和4年度JP S A 4協議会合同会議 開催日：令和5年3月7日（木） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員2名 <p>②障がい者スポーツ医科学委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022北海道・東北パラ陸上競技選手権への派遣 …令和4年6月18日～19日 障がい者スポーツ医2名派遣 ・ 令和4年度福島県障がい者スポーツ医科学委員会の開催 …開催日：令和5年3月 		
参考	自主事業		

【公益事業】（7）その他の事業

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	0円
概要	企業が東日本大震災復興支援を目的として実施する事業に協力とともに、企業からの奨励金（補助金）を活用した事業を展開する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止</p>		
参考	<p>※東北サンさんプロジェクト</p> <p>サントリーグループが、「漁業支援」「子ども支援」「チャレンジド・スポーツ支援」「文化・芸術・スポーツ支援」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野での支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	411,693 円
概要	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料。法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
実績	<p>事業実績</p> <p>●会議の開催</p> <p>※（１）理事会のうち ア 及び（２）評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためいずれも議決書略（書面開催）</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第１回理事会 令和４年６月３日（金） 令和３年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回理事会 令和５年３月２日（木） 令和５年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第１回評議員会 令和４年６月３０日（木） 令和３年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回評議員会 令和５年３月２２日（水） 令和５年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（３）監事監査</p> <p>令和４年５月２０日（金） 令和３年度事業実績・収支決算について</p> <p>●財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。当年度の実績は以下のとおり。</p> <p>・ R 3 年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和４年５月１３日（金）</p> <p>※この他、疑義事項等について、適宜電話やメール等で相談、助言等を受けた。</p>		
参考			

事業報告書の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。